付託事件等審査結果報告

平成26年10月9日

薩摩川内市議会企画経済委員会

委員長 佃 昌 樹

1 委員会の開催日

9月11日、10月1日（2日間）

2 付託事件及び審査結果

- (1) 議案第76号 薩摩川内市下甌竜宮の郷条例を廃止する条例の制定について

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

- (2) 議案第77号 薩摩川内市東郷温泉総合施設条例を廃止する条例の制定について

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

- (3) 議案第78号 薩摩川内市里交流センター条例を廃止する条例の制定について

本案は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

3 審査の経過

これらの議案3件は、一括して慎重に審査を行い、審査の過程において、各施設を民間へ譲渡する際に現行の指定管理者との間に発生する契約残期間や雇用継続等の問題、各施設の土地・建物の財産処分方針を無償譲渡に変更した理由・経緯、譲渡に関する手続等について質疑を行った。

なお、これらの議案3件に対しては、次の付帯決議を付することに決定した。

4 付帯決議

本条例は、各施設を民間へ譲渡するため、その用途を廃止しようとするものであるが、平成24年度に議会に示された薩摩川内市公有財産利活用基本方針に基づく財産仕分け・利活用方針において「売却」とされていた施設が、当局において「無償譲渡」に方針変更されるなど、譲渡に関する手続等や議会や市民との合意形成に関し、十分でない部分があると考えられることから、次のことに留意されたい。

- (1) 譲渡に必要な手続を進めるに当たっては、現行の指定管理者との指定管理に係る契約残期間の対応、事業の円滑な引継ぎ、譲渡後の修繕費等の負担の明確化、継続雇用対策など、想定されるリスクを慎重に考慮して対処されたい。
- (2) また、議会及び市民への説明責任が十分に果たされるよう、譲渡条件、公募手続その他財産処分に必要となる議決工程等について、遺漏のないように努められたい。
- (3) 譲渡条件の検討に当たっては、土地、建物の資産価値を把握した上で、有償譲渡の可能性の検討から段階的に開始するなど、慎重かつ丁寧に取り組まれたい。